



ワークフローの追加

ここでは、次の内容について説明します。

- [ワークフローの追加 \(1 ページ\)](#)
- [ワークフローの編集 \(3 ページ\)](#)

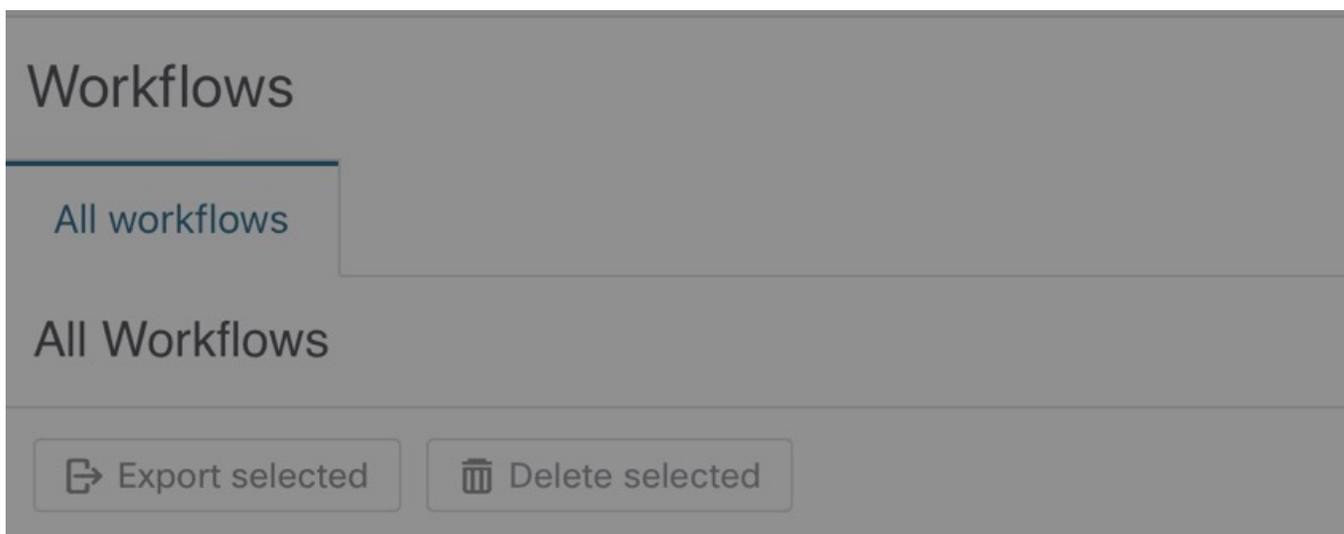
ワークフローの追加

ここでは、CWM にワークフロー定義を追加する方法について説明します。

ステップ 1 CWM で、[ワークフロー (Workflows)]->[すべてのワークフロー (All Workflows)] タブに移動します。

ステップ 2 [ワークフローの新規作成 (Create new workflow)] ボタンをクリックします。

図 1:[ワークフローの新規作成 (Create new workflow)] ボタン



ステップ 3 [ワークフローの新規作成 (Create new workflow)] モーダルで、必要な入力を行います。

- a) [ワークフロー定義名 (Workflow definition name)] : ワークフロー定義の名前を入力します (例 : MyFirstWorkflow) 。
- b) [バージョン (Version)] : ワークフロー定義のバージョンを入力します (例 : 1.0) 。

ステップ 4 [ワークフローの作成 (Create Workflow)] をクリックします。

図 2: [ワークフローの新規作成 (Create new workflow)] モーダル

Create new workflow

Workflow definition name*

Version*



次のタスク

上記の手順では、ダミーコードを使用してCWMにワークフローエントリを作成しています。これには、さらに編集が必要です。次のセクションでは、ワークフロー定義を挿入し、事前定義されたコードを置き換える方法を確認できます。

ワークフローの編集

ステップ1 既存のワークフローを編集するには、[すべてのワークフロー (All Workflows)] タブで、選択したワークフロー定義名をクリックして[詳細 (Detail)] タブを開きます。説明を追加したり、バージョンやワークフロー定義名を編集したりできます。

図 3: ワークフローの詳細

ステップ 2 [コード (Code)] タブに移動して、ワークフロー定義を編集します。デフォルトでは、CWM で新しいワークフローを作成した後、[コード (Code)] タブには、ダミーのコードが含まれています。これは、サーバーレスワークフロー仕様に基づいて、JSON または YAML で実際に作成したワークフロー定義に置き換える必要があります。

(注) CWM 1.0 には、コードエディタ機能がなく、コードフィールドに挿入されたワークフロー定義の検証也没有。ワークフロー定義の作成には、外部のコードエディタを使用することをお勧めします。

ステップ 3 必要な変更を挿入した後、右側のボタンを使用していくつかのアクションを実行できます。

- a) [完了 (Done)]: 変更を拒否し、前のページに移動します。
- b) [新しいワークフローとして保存 (Save as new workflow)]: 変更が挿入された新しいワークフロー定義を作成し、以前に保存したバージョンのワークフロー定義を保持します (同じワークフロー定義に変更を上書きせずに、別の新しいワークフロー定義を作成します)。
- c) [変更の保存 (Save Changes)]: 現在のワークフロー定義に挿入された変更を保存します。
- d) [実行 (Run)]: ワークフロー定義を単一のジョブとして実行します。

図 4: ワークフロー詳細のボタン



(注) 現在実行中のジョブに影響を与えることなく、ワークフロー定義を更新してバージョンアップできます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。